

にじいろ通信

2023年4月号

●今月のスマイルコラム●



健診で「様子を見ましょう」と言われたらどうする？

「様子を見る」この言葉、決してそのままいいよってことには思えずモヤモヤ…

でも、具体的に何をしたらいいかもわからない…

そんな思いで、このにじいろへ勇気を出して来てくださった方も多いのではないのでしょうか。

健診で引かかった…まだあまり言葉が出ない…他の子とちょっと違う気がする…

様子を見ましょうと言われた…不安になりますよね。

そんなときは、子供の集まる場所に足を運んでみてはいかがでしょうか。

エンゼルハウス、ぶらんこ（親子広場や子育て支援センターなど）

和泉市保健福祉センターでの親子教室、ふたば教室などもあります。

遊びの中での「どうぞ」「ちょうだい」といったやりとりなどで言葉を少しずつ引き出していっ

たり、普段からたくさんの子供に接している人の目を通すことで、身近で受けられる助言を受けながら、子供の育ちを見守っていくことが大切です。

また、地域の子育て支援センターなどでは保護者に対するケアも行っているので、子育てに関する悩みや、感じている不安なども相談してみましょう。

合わないな、通うのがしんどいなと思ったら、行くのをお休みしたり、やめてもいいんです！

大切なのはしんどいなと思ったときには無理をしないことです。

教室などはお住まいの地域の保健師さんのいらっしゃる窓口に相談してみてくださいね。



発達っ子ママの会サポーターEMIのおすすめ書籍紹介

こちらで紹介している本はエンゼルに置いてあります。

貸し出しもできるので、ご興味のある方はお気軽に声をかけてくださいね！

感動★★★★★ 多様性★★★★★ 元気が出る★★★★★

『窓ぎわのトットちゃん』は1981年の発売以来、世界中で読まれ続けている黒柳徹子さんの自伝です。

本の中には黒柳さんこと小学生のトットちゃんが、通っていた小学校を1年生で退学になってしまったあと、新しく通うことになったトモエ学園での楽しい日々が描かれています。

トモエ学園は廃車になった電車車両を教室として使用していたり、自分の好きな教科から勉強ができたり、

10人以下の少人数で授業が受けられるような素敵な学校でした。

「もしあの学校に出会っていなかったら、きっと私はすごくビクビクした大人になっていたかもしれない」と

以前何かのインタビューで黒柳さんが答えていらっしまったのが印象的でした。

「きみは本当はいい子なんだよ」と毎日言ってくれた素敵な校長先生との日々。

気になる方は読んでみてくださいね。

